





化

あぜ管理 省力化のご提案





🥟 株式会社 サカエグリーン

芝生で畦畔緑化!

時畔の除草は、**時**畔の保全/雑草の侵入防止/雑草種子の混入防止/害虫やネズミ等の **駆除・発生防止**などの上でとても大切な作業といえます。しかし法面での、そして夏場の 除草作業は身体的負担が非常に大きく大変です。従来の除草対策である*畦畔のコンクリー* ト舗装やゴム製シートによる被覆といった方法は、景観的に美しくなく、また水辺と陸地 を分断するため生態系保全の上でもあまり良いとは言えません。シバザクラなどによる植 栽は、景観的に美しいものの、高価でかつ手間がかかってしまいます。

芝生による畦畔緑化によって、景観や生態系の機能を維持しつつ、大変な畦畔での除草 作業を省力化することが可能となります。

時畔芝生化の特徴

- ●安価に導入可能
- ●違和感のない景観
- 多少のメンテナンスが必要

畦畔芝生化の効果

●草刈作業を軽減できる

通常の畦畔除草作業に比べ負担が少なく(時間にして3分の1 程度というデータも)、女性やお年寄りでも作業可能で、少し ずつ行うことで労働のピークを分散させることができます。

●あぜが崩れるのを防ぐ

芝草の根が土の飛散を抑え、葉が雨滴による侵食を防ぐので、 長いあぜでも崩れません。

●あぜの雑草発生を防ぐ

芝草が密に生育することで雑草が侵入しにくくなり、また土表 面を覆うことで雑草の発芽を抑制します。

施工方法

- ★播種を行う二週間前に除草剤を散布してください。
- ★初夏と秋の年二回程度刈込みを行ない、適宜除草剤を散布してください。
- ★極端な乾燥が続く場合は散水することをお勧めします。



①資材を揃えます



②水槽に養生材を入れます



③よく練って養生材をほ



養生材が十分にほぐれた



④芝草種子を加えます



さらに混ぜ合わせます



⑥侵食防止剤を加えてさら に混ぜ合わせます



⑦混ぜ終わったものを法 面に手播きします



8上下からむらなく散布 します



むらなく散布した状態



播種直後の様子



発芽の様子



成長の様子



ほふく茎が地表面を伸び る様子



芝草が十分に成長した様子

高密度

芝の密度が高いほど、土壌 を抑える力や雑草を抑制す る力が大きくなります。

適度な草丈

草丈が高くなりすぎると密度が あまり高くならず、雑草が侵入 しやすくなってしまいます。

健康な芝草

生育不良の芝草では、病害虫 が発生しやすく、雑草との競 合にも負けてしまいます。

管理・施工のポイント

- ●適切な刈込み
- ◆刈込みを行なうことで、芝生の密度が高まるとともに雑草の種子形成を防ぎます。
- ◆刈込み時期を誤ると効果が得られなかったり、雑草に負ける要因となることがあります。
- ◆刈高が高すぎると下部が白くなって枯れてしまったり、逆に低すぎると栄養不足で根の 発達が悪くなることがあります。刈高は概ね10cm未満とし、芝の生育状況を見て低く 刈りすぎないように注意しましょう。
- ◆刈込みは雑草の生育状況を見て、芝を被圧する前・花をつける前に行ないましょう。 (概ね初夏と秋の年二回程度。雑草の勢いが強いようなら回数を増やすと効果的です)
- ●事前の除草剤散布 ◆既存の植生(雑草)がある場合は、芝生の種まき(播種)の二週間前に、非選択性の茎 葉処理型除草剤(ラウンドアップ等)を散布し、雑草の地上部が枯死してから地下茎・ 根を除去して畦畔をならし、速やかに播種を行ってください。
 - ◆新規に造成された畦畔の場合は、土壌表面にレーキ等で軽く溝をつけてから播種してく ださい。
- ●雑草防除
- ◆雑草は刈込みによって概ね衰退しますが、発生が著しい場合は畦畔及び芝生適用のある 除草剤を適官散布してください。

年間スケジュール

- ★畦畔で必要な芝生管理は主に**刈込み/雑草防除/病害虫防除/施肥**の4つです。
- ★特に刈込みは重要で、他は必要に応じて行ないます。
- ★播種の時期は、5月中旬から8月上旬が目安です。

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
播種					_							
刈込み									_			
雑草防除			• •	• • •	• •							
病害虫防除					• • • •	• • • •	• • • •		• •	• • • •	•	
施肥										• •	• • • •	

資材について

●芝生種子(播種量:5~20g/m³)

芝生種子は地上ほふく茎のある種が畦畔緑化に適しています。例えばセンチピードグラス(和名:ムカデ シバ)は、ほふく茎が1年に1.5~2.0m伸長し、ノシバより発芽生育が早く、また密度も高く雑草の侵入 が少ないため最適な種と言えます。

●養生材(使用量:100~150g/㎡ 水:1L/㎡)

種子を均一に播くために、ファイバーなどの養生材を加えます。

●法面浸食防止剤(使用量:40~80g/m³)

種子が土に馴染む前に法面から流れ出してしまうのを防ぐために、侵食防止剤を加えます。



〒930-0171 富山県富山市野々上150番地 TEL:076-434-0036 FAX:076-434-4968